

平成13年 5月10日

報道機関 各位

広島大学総務部大学情報室長
西田良一

原田学長の「伝書鳩の帰巢実験」公開の結果について

本日はご多忙中のところ取材においでいただきまして誠にありがとうございました。
実験の結果(本日12時15分現在)につきまして[別紙](#)のとおりお知らせいたします。

【お問い合わせ先】

広島大学大学情報室主査 戸澤 滋 憲

TEL: (0824) 24-6013

(ダイヤルイン)

原田学長の「伝書鳩の帰巢実験」公開の結果について

平成13年5月10日 12時15分現在

○ 広島大学西条総合運動場で放った伝書鳩 31羽

内訳

正常な伝書鳩	21羽
壺囊神経を切断した伝書鳩	3羽 (No.7,8,11)
磁性物質を埋め込んだ伝書鳩	2羽 (No.9,10)
磁性物質を貼り付けた伝書鳩	3羽 (No.13,本日分2羽)
擬似手術をした伝書鳩	1羽 (No.12)
4月7日予備実験で磁性物質を埋め込み4月11日に帰巢した伝書鳩の磁性物質を除去した伝書鳩	1羽 (No.6)

○ 帰巢した伝書鳩 22羽(12時15分現在)

内訳

正常な伝書鳩	21羽
擬似手術をした伝書鳩	1羽

西条総合運動場で放った後、約30分で21羽が一斉に帰巢した

○ 原田学長のコメント

「私の在任中に実証できてうれしい。」